

2022年度 事業報告書

1. 法人の概要

学校法人敬道学園

代表者 : 理事長 牧野 健介
所在地 : 愛知県名古屋市中村区黄金通1-16
設立 : 1967年4月1日

1. 沿革 (2023年3月31日現在)

- 1967年 日本デザイナー学院・日本写真専門学院名古屋校創立
学院長に山名文夫就任
- 1979年 専門学校設置認可に伴い、日本デザイナー学院名古屋校写真科に改称
校長に狭間寿郎就任
- 1981年 校長に横田真利就任
- 1984年 校長に岡本滋夫就任
- 1987年 名古屋校創立20周年記念「高校生デザイン・写真コンペティション」開催
- 1990年 パリ海外研修旅行始まる
- 1991年 名古屋市中村区黄金通に新校舎完成移転
校長に中井幸一就任
- 1995年 マルチメディアデザインコース（現デジタルデザインコース）設置
- 1997年 名古屋校創立30周年を迎えOB30展開催 マンガコース設置
- 1998年 日本デザイナー芸術学院に校名変更
コミュニケーションアート学科設置
校長に竹内克郎就任
- 1999年 写真科OB35展開催
- 2000年 OB展2000「DIGITALWORLD」開催
- 2002年 創立35周年記念イベント開催
中国国立四川大学芸術学部と姉妹提携
- 2003年 世界グラフィックデザイン会議に出展
- 2007年 校長に田辺雅一就任
創立40周年記念「OB40展」開催
- 2010年 日本マンガ芸術学院開校
（マンガ分野と声優タレント分野に特化した日本デザイナー芸術学院の
グループ校として創設）
校長に成光雄就任
- 2011年 日本デザイナー芸術学院校長に本山星求就任
- 2014年 日本デザイナー芸術学院校長に成光雄就任
- 2015年 学校法人名を敬道学園と改称
- 2018年 日本デザイナー芸術学院、日本マンガ芸術学院に3年制コースを新設
- 2020年 日本デザイナー芸術学院にこども芸術学科設置

2. 設置学校・学科・コース

専門学校日本デザイナー芸術学院 専門課程昼間部 修業年限2年/3年

【設置学科・コース】

ビジュアルデザイン学科 募集定員（120名） 文化教養分野

グラフィックデザインコース	2年/3年
キャラクターデザインコース	2年/3年
イラストデザインコース	3年
アートデザインコース	3年
映像デザインコース	3年
国際メディアデザインコース（留学生対象）	3年

こども芸術学科 募集定員（20名） 教育社会福祉分野

保育士コース	3年
--------	----

専門学校日本マンガ芸術学院 専門課程昼間部 修業年限2年/3年

【設置学科・コース】

メディアアート学科 募集定員（110名）

マンガコース	2年/3年
コミックイラストコース	2年
小説クリエイイトコース	2年
声優タレントコース	2年/3年
国際メディアデザインコース（留学生対象）	3年

2. 設置学校の在籍学生数の状況

各設置学校の2022年5月1日現在の学生数

学 校 名	新入生	進級生	合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	132	187	319
専門学校日本マンガ芸術学院	76	64	140

3. 教職員・役員の状況

教職員 80名

役員	理事	牧野 健介	学校法人敬道学園	(常勤・理事長)
		成 光雄	学校法人敬道学園	(常勤・校長)
		宮武 一行	学校法人恭敬学園	(非常勤・外部理事)
		田中 智	株式会社日本教育工房	(非常勤・外部理事)
		杉本 良行	学校法人恭敬学園	(非常勤・外部理事)
	監事	鈴木 康弘	株式会社日本教育工房取締役	
		大川 高志	株式会社ラバーセンス代表取締役	

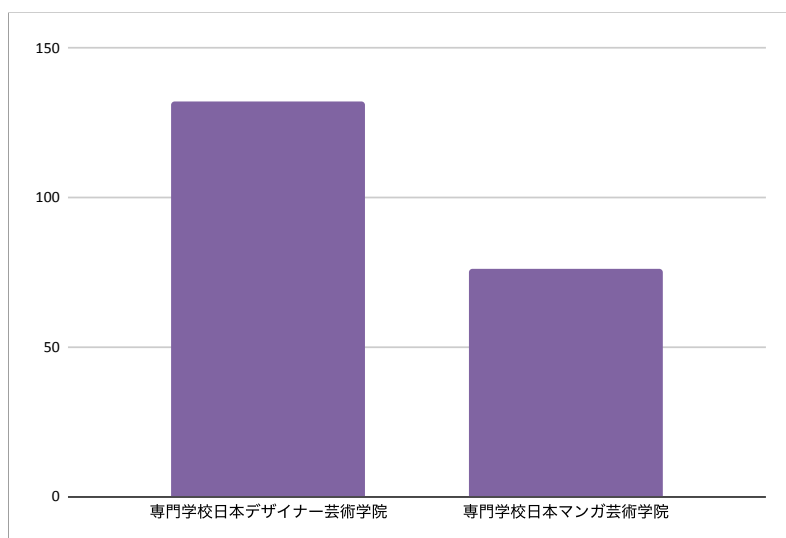
II. 当該年度事業の概要

1. 募集活動について

2022年4月入学者は、合計207名

(専門学校 日本デザイナー芸術学院：132名 専門学校 日本マンガ芸術学院：76名)

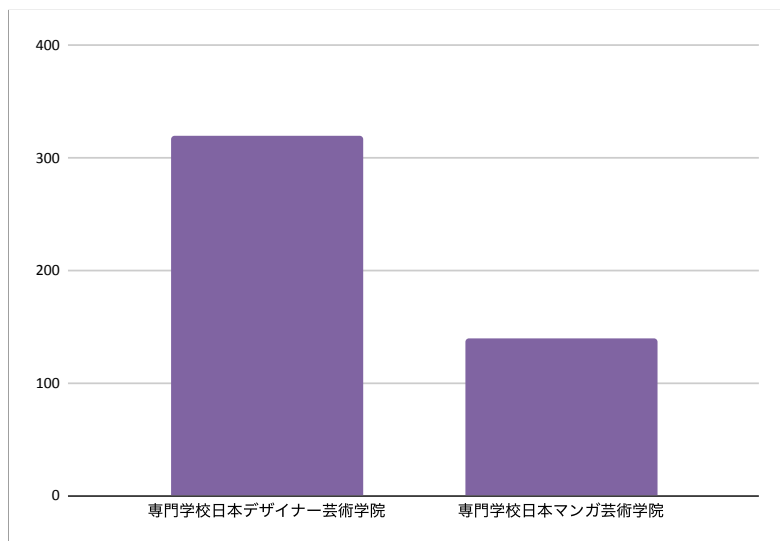
敬道学園・新入学者数		合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	132	207
専門学校日本マンガ芸術学院	76	



2022年4月在籍者数は、合計459名

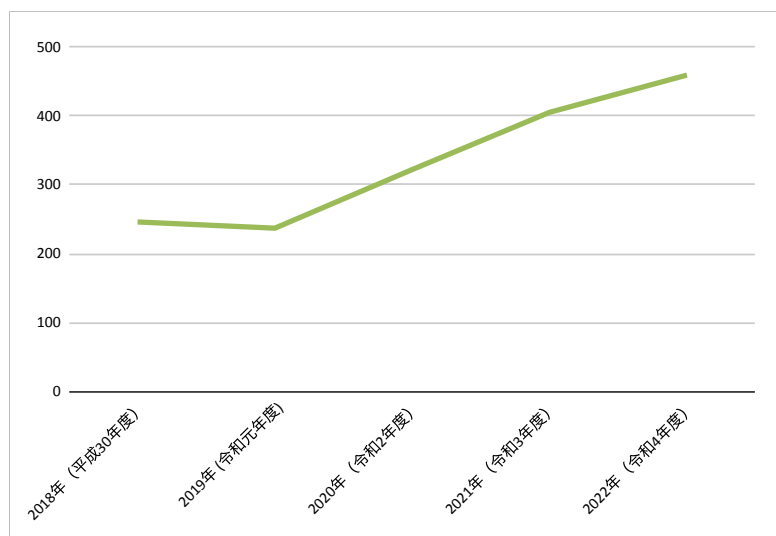
(専門学校 日本デザイナー芸術学院：190名 専門学校 日本マンガ芸術学院：132名)

敬道学園・在籍者数		合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	319	459
専門学校日本マンガ芸術学院	140	



敬道学園 学生数推移 (2017年～2021年)

敬道学園・学生数推移 (2018～2022)	
2018年 (平成30年度)	246
2019年 (令和元年度)	237
2020年 (令和2年度)	322
2021年 (令和3年度)	405
2022年 (令和4年度)	459



2. 就職活動について

当学院では、業界への就職やデビューを実現させるためのプログラムとして「キャリアデザイン」による就職対策、「デビュー支援プロジェクト」を要とした業界へのアプローチを1年次から実施している。

定期的な学生支援の継続で学生の意識向上や積極的な業界へのアプローチを可能とし近年では、業界では難関と言われる企業への就職や在学中からの作家デビューなど実績を重ね、卒業後のキャリア支援も含めた好調な進路決定率を維持している。

2022年度3月卒業生の就職実績（進路決定率）としては、日本デザイナー芸術学院として86.3% 日本マンガ芸術学院として78.1%の実績となる。※1

2022年度は、2020年度から続くコロナ禍も収束の兆しも見え始め、採用を控えていた企業も採用活動を再開しつつある状況とはいえ、依然不透明な経済状況を反映してか、前年度に引き続き学生たちにとっては就職活動に苦戦した年度となった。

前年度から定番化したリモートでの企業説明会やWeb面接での対応力を高める学生指導と合わせ、オープンチャットを活用したリアルタイムでの求人情報の配信、「就職対策授業」の強化と進路相談、面接対策等の個別対応を積極的に実施した。

時代に合わせたキャリア支援の必要性と従来の指導（エントリーシート・履歴書ポートフォリオ）を継続的に行い、次年度以降も学生たちが望む多種多様な進路決定を実現するために学生サポートを継続していく。

※1（専門学校日本マンガ芸術学院は、各コースの特性上、漫画家アシスタント、養成所進学等も数値に含む）

3. 進級率・退学者について

当学院では、進級率の向上、退学者の減少の為に施策としてカウンセリングシートを活用した退学要因の把握と個人面談の複数回実施による学校生活サポートを重点項目として取り入れている。

経済的問題での退学者が多い状況の中で、学習意欲の減退や人間関係でのつまづきが最小限にとどまるよう、個々の学生とのコミュニケーションを緊密にとり、生活面及び学習環境の改善に努めている。

近年の傾向としては、精神的な問題で休学や退学に至るケースが増えており家庭との連携が必要な事案も増加傾向にある。

2022年度の進級率としては、学園全体で89.5%である。

4. 当該年度の取り組み

2022年度に関しては、コロナ渦での影響が引き続き教育面に影響を与えてはいたが感染症対策を万全に実施し当学園の教育プログラムをコロナ渦前の内容に戻す試みを行った。対面形式での授業はもとより、東京研修、北海道研修への通常期間での実施や学校行事（新入生歓迎会・学院祭・バスハイク）の再開で学生満足度の向上を図ることを主眼に置き、各種取り組みを推進した。

研修旅行参加率は、過去最高を記録し学生たちの課外活動への参加意欲も著しく向上する結果となった。

5.懲戒解雇

本学職員に対して学校法人敬道学園職員就業規則に基づき、以下のとおり懲戒処分を行った。

1. 被処分者

教務課職員 男性

2. 処分内容及び処分年月日

懲戒解雇 令和4年11月20日

3. 懲戒処分の理由

被処分者は、令和4年11月に在学生に対してわいせつな行為を行い、強制わいせつの容疑により起訴された。被処分者の行為は、学校法人敬道学園職員就業規則により、懲戒の事由に該当すると認められるため懲戒解雇とした。

なお、事案の詳細は、関係者のプライバシー等を侵害するおそれがあると判断されるため、記載は控えさせていただきます。

今後はこのような事が起こらないよう職員・在学生・講師における適切な関わりとけじめについて再考すると共に、ハラスメントに関する啓発活動をさらに徹底し、再発防止に向けた取り組みを一層強化して参ります。

Ⅲ. 財務の概要及び決算報告

【貸借対照表】

資産の部		(単位：千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
(固定資産)	1,405,969	1,414,104	△ 8,135	
【有形固定資産】	1,403,064	1,410,363	△ 7,299	
【その他の固定資産】	2,905	3,741	△ 836	
(流動資産)	410,194	406,418	3,776	
(資産の部合計)	1,816,163	1,820,522	△ 4,359	

負債・純資産の部		(単位：千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
負債の部	355,628	453,119	△ 97,491	
(固定負債)	15,013	30,005	△ 14,992	
(流動負債)	340,614	423,114	△ 82,500	
純資産の部	1,460,535	1,367,403	93,132	
基本金	2,312,797	2,294,679	18,118	
繰越収支差額	△ 852,261	△ 927,276	75,015	
(負債及び純資産の部合計)	1,816,163	1,820,522	△ 4,359	

【資金収支計算書】

収入の部		(単位：千円)		
科目	予算	決算	差異	
【学生生徒等納付金収入】	403,193	404,439	△ 1,246	
【手数料収入】	3,900	4,076	△ 176	
【補助金収入】	33,500	33,688	△ 188	
【資産売却収入】			0	
【事業収入】	40,000	40,337	△ 337	
【受取利息・配当金収入】	0	0	0	
【雑収入】	2,654	2,701	△ 47	
【借入金等収入】	30,000	30,000	0	
【前受金収入】	221,000	224,739	△ 3,739	
【その他の収入】	123,000	124,886	△ 1,886	
【資金収入調整勘定】	△ 246,559	△ 246,559	0	
(前年度繰越支払資金)	394,354	394,354	—	
(収入の部合計)	1,005,042	1,012,661	△ 7,619	

支出の部

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
【人件費支出】	146,000	145,539	461
【教育研究経費支出】	93,350	91,141	2,209
【管理経費支出】	128,480	126,000	2,480
【借入金等利息支出】	400	394	6
【借入金等返済支出】	58,560	58,560	0
【施設関係支出】	17,000	16,998	2
【設備関係支出】	1,800	1,492	308
【その他の支出】	204,063	203,755	308
【資金支出調整勘定】	△ 34,537	△ 34,337	△ 200
(翌年度繰越支払資金)	389,926	403,119	△ 13,193
(支出の部合計)	1,005,042	1,012,661	△ 7,619

【事業活動収支計算書】

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
【学生生徒等納付金】	403,193	404,440	△ 1,247
【手数料】	3,900	4,076	△ 176
【経常費等補助金】	33,500	33,688	△ 188
【事業収入】	40,000	40,337	△ 337
【雑収入】	2,654	2,701	△ 47
(教育活動収入計)	483,247	485,241	△ 1,994
【人件費】	148,400	147,287	1,113
【教育研究経費】	117,350	115,008	2,342
【管理経費】	131,280	128,759	2,521
(教育活動支出計)	397,030	391,715	5,315
教育活動収支差額	86,217	93,526	△ 7,309
【受取利息・配当金】	0	0	0
(教育活動外収入計)	0	0	0
【借入金等利息】	400	394	6
(教育活動外支出計)	400	394	6
教育活動外収支差額	△ 400	△ 394	△ 6
(経常収支差額)	85,817	93,132	△ 7,315
【資産売却差額】	0	0	0
(特別収入計)	0	0	0
【資産処分差額】	0	0	0
(特別支出計)	0	0	0
特別収支差額	0	0	0
(基本金組入前当年度収支差額)	85,817	93,132	△ 7,315

(基本金組入額合計)	△ 18,300	△ 18,118	△ 182
(当年度収支差額)	67,517	75,015	△ 7,498
前年度繰越収支差額	△ 927,276	△ 927,276	—
(翌年度繰越収支差額)	△ 859,759	△ 852,262	△ 7,497
(参考)			
事業活動収入計	483,247	485,242	△ 1,995
事業活動支出計	397,430	392,109	5,321